

報道資料

Xバンド・レーダー配備計画に関する京丹後市議会議員全員協議会 出席者名簿(防衛省)

3月13日(水)午後4時30分から開始予定のXバンド・レーダー配備計画に関する京丹後市議会議員全員協議会における防衛省の出席者は下記のとおりです。

	役 職	氏 名		備 考
1	防衛大臣政務官	佐藤 正久	さとう まさひさ	
2	地方協力局長	山内 正和	やまうち まさかず	
3	地方協力局地方調整課長	古屋 剛	ふるや たけし	
4	近畿中部防衛局長	及川 博之	おいかわ ひろし	
5	防衛大臣政務官秘書官	田甫 秀臣	たんぽ ひでおみ	
6	防衛政策局防衛政策課企画官	岩池 正幸	いわいけ まさゆき	
7	地方協力局地方調整課部員	小松 幸弘	こまつ ゆきひろ	
8	航空幕僚監部防衛部防衛課長	森田 雄博	もりた たけひろ	1等空佐
9	近畿中部防衛局企画部次長	船本 聖滋	ふなもと せいじ	
10	防衛政策局防衛政策課	古田 純子	ふるた じゅんこ	3等空佐
11	経ヶ岬分屯基地司令	近藤 庸二	こんどう ようじ	2等空佐
12	航空幕僚監部防衛部防衛課	富川 輝	とみかわ てる	2等空佐
13	近畿中部防衛局総務部総務課長	本間 克哉	ほんま かつや	

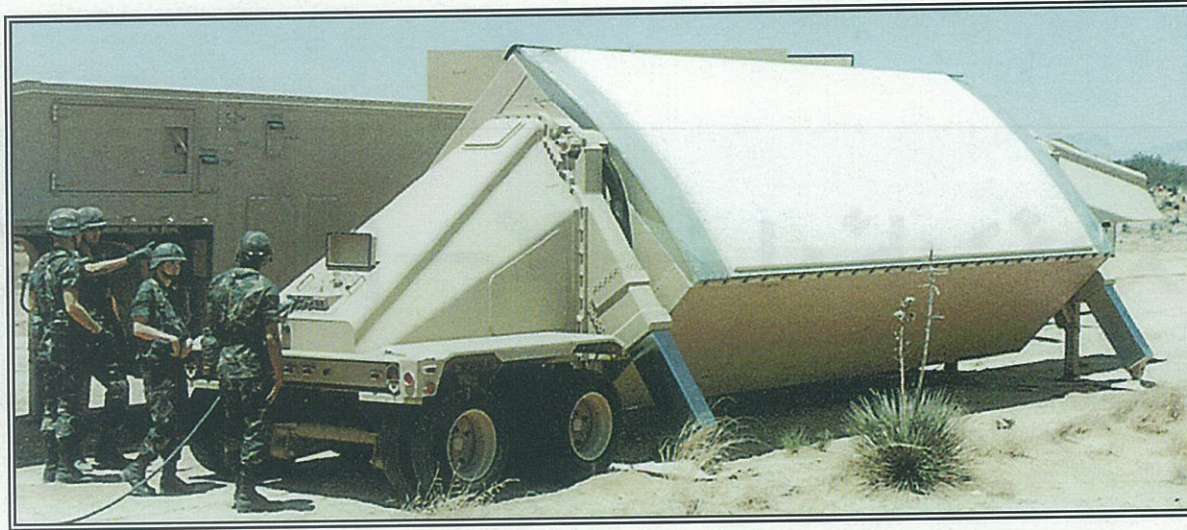
Xバンド・レーダーについて

(題 名)

平成25年3月

防 衛 省

Xバンド・レーダーの概要



(外 観)

- Xバンド・レーダーは、米国が開発した弾道ミサイルの探知・追尾を目的としたレーダー（正式名称はAN／TPY－2）。
- このレーダーは、弾道ミサイルが飛来する可能性が高い空域を監視し、飛来する弾道ミサイルを精密に探知、追尾する能力に優れたもの。
- このレーダーは弾道ミサイルの探知・追尾に特化したものであり、ペトリオット・システムのように迎撃ミサイルを有するものではない。

Xバンド・レーダーの配備状況

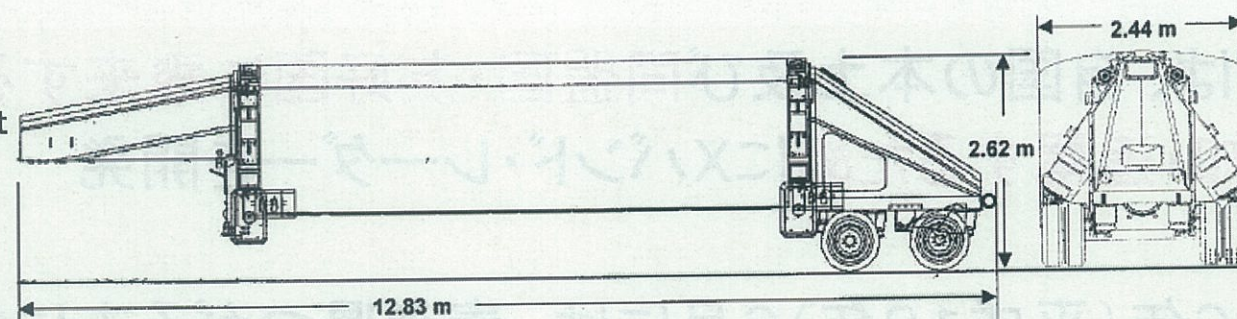
- 米国は、自国の本土及び**同盟国・友好国に飛来する弾道ミサイル**を**探知・追尾するため**にXバンド・レーダーを開発
- 2006年(平成18年)6月には、青森県つがる市にある、航空自衛隊車力分屯基地に配備(現在、米国以外の国で4基が運用中(※))
- このレーダーで得られた情報は、日米で共有され、日本に向かう弾道ミサイルをより精密かつ確実に探知・追尾するために活用されることにより、我が国の弾道ミサイル防衛能力の向上に寄与

(※) 2007年6月、航空自衛隊車力分屯基地から、隣接する米車力通信所へ移設
また、本レーダーは日本のほかイスラエル、トルコなどにも配備

レーダー関連器材

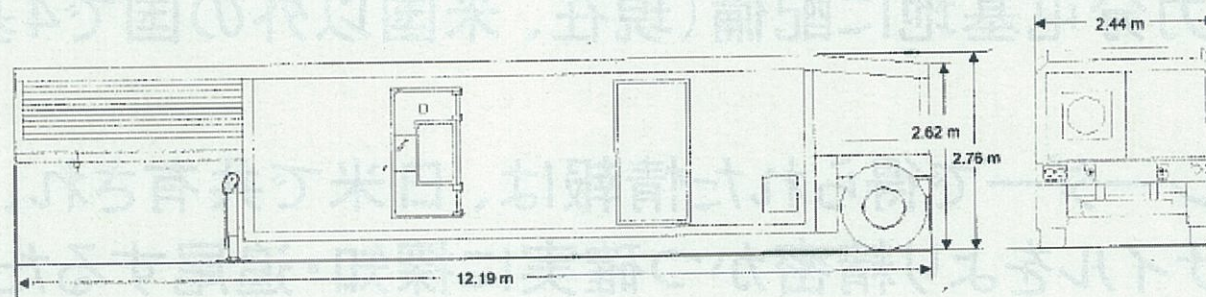
レーダー・アンテナ

重量(牽引車両込み): 約34t



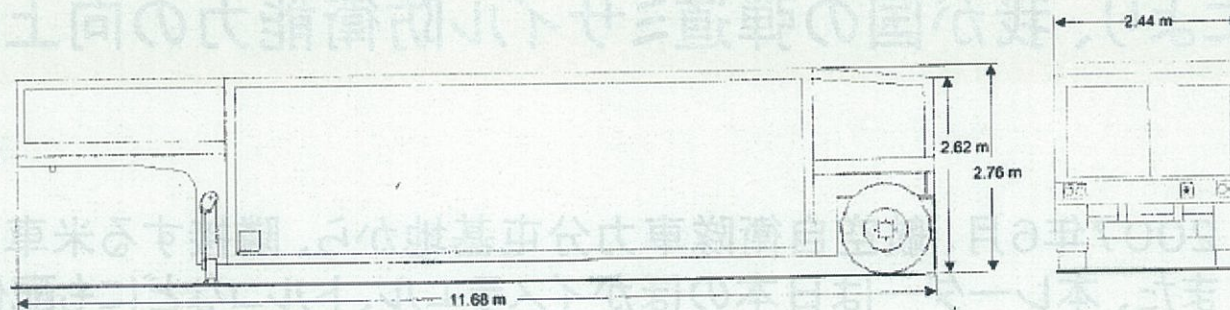
電子器材

重量(牽引車両込み): 約28t



冷却器材

重量(牽引車両込み): 約27t

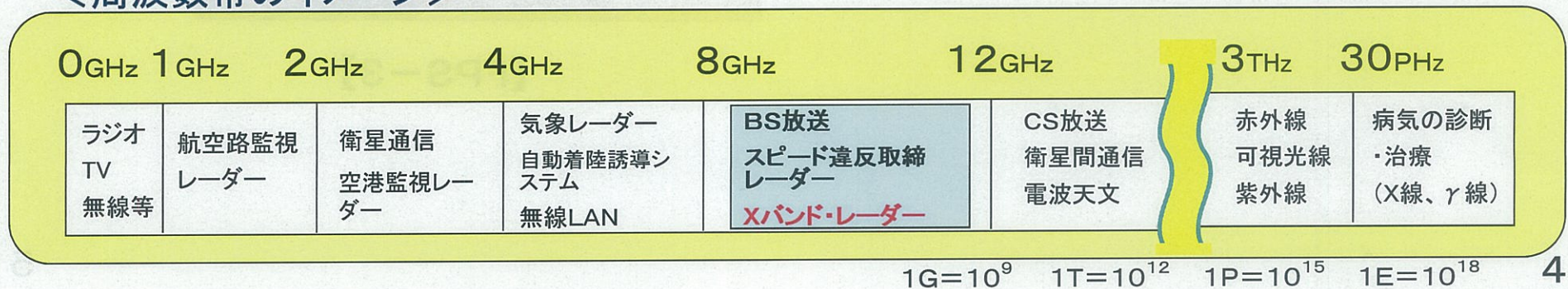


※ 上記器材以外に、電源、通信器材、運用者が常駐する管理施設、部品の倉庫や燃料タンクなどが必要。

Xバンド・レーダーの安全性

- 本レーダーで使用する周波数帯は、**スピード違反取締**等にも使われている概ね8GHz～12GHzのいわゆる「Xバンド」と呼ばれる帯域
- レントゲン等で用いられる「エックス線」(30PHz～3EHz)とは**全く異なる周波数帯**
- 本レーダーは、レーダー照射面の前方に数百メートル程度の立ち入り禁止区域を設定し、**安全を確保した上で運用**される

<周波数帯のイメージ>

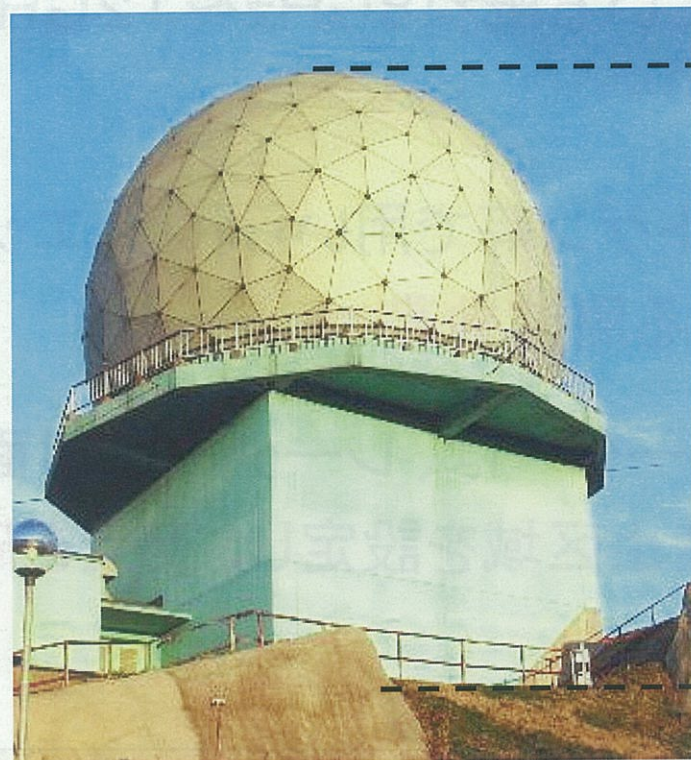


他レーダーとの比較



約3m

【Xバンド・レーダー】



約20m

【FPS-3】



「Xバンド・レーダー」の配備について 皆様の疑問にお答えします

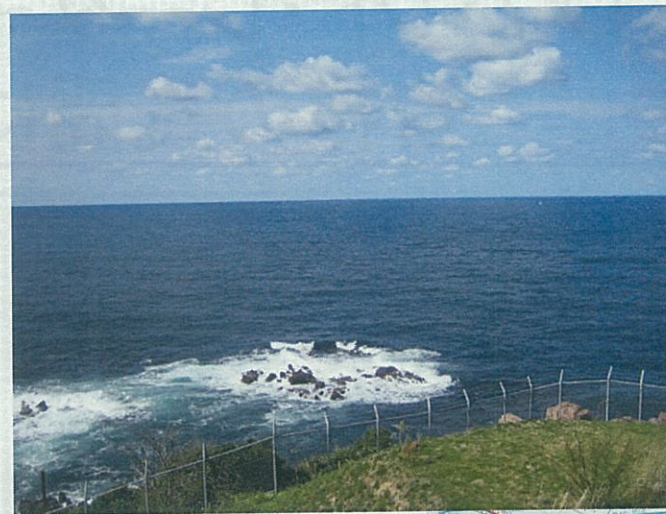
平成25年3月
防衛省

なぜ経ヶ岬に「Xバンド・レーダー」を配備する必要があるのですか。

経ヶ岬は、日本海側に所在する自衛隊施設を中心に、日米間で慎重に検討した上での候補地です。

○経ヶ岬は、

- ①日本及び米国に飛来する弾道ミサイルの探知・追尾能力の向上を図ることが可能な位置にあること
- ②レーダーを日本海側に向けて使用することになるため、遮断するものがなく見通しがよいこと
- ③上空に航空路等がないこと
- ④周囲に電波塔や放送塔などがなく、電波環境がよいこと



基地内から見た日本海側の見通し

など、弾道ミサイルの探知・追尾を行う上で最適の場所であるため、候補地として選定されました。

○相次ぐ北朝鮮によるミサイル発射など、我が国周辺の安全保障環境が変化する中、経ヶ岬にこのレーダーを配備することにより、弾道ミサイル攻撃に対する我が国の防衛能力の強化に寄与します。



基地付近の航空路の状況

「Xバンド・レーダー」の配備のために用地の取得が必要となるのですか。

基地周辺の数ヘクタールの用地の取得(買収・賃貸借)が必要となります。

○「Xバンド・レーダー」を運用するには、レーダー本体のほか、電源、通信器材に加え、庁舎などのための敷地が必要となります。

○このほか、自衛隊の基地機能を維持・充実するための敷地が必要となります。

○用地取得にあたっては、地権者の方々をはじめ、皆様のご理解が得られるよう、丁寧にご説明してまいります。

○なお、取得した用地において各種の工事を実施するに際しては、交通渋滞や騒音などによりご迷惑をおかけすることのないよう最大限つとめてまいります。



展開予定図（取得用地の範囲は概略であり、今後変更の余地があります）



車力通信所に配備されている「Xバンド・レーダー」

「Xバンド・レーダー」の配備に伴い、何人の人員が配属されるのですか。

経ヶ岬に配置されることになる人員数は、現在、米国において検討中ですが、最大160名程度であり、民間企業の技術者が多数を占めるものと聞いています。



住民と一緒に山車を曳く隊員

○車力通信所に配属されている隊員などは、周辺地域の夏祭りや海岸のごみ拾いなど各種ボランティアに積極的に参加しています。

○なお、車力通信所では、これらの隊員などは、基地外に居住しており、通信所周辺に宿舎が設けられています。経ヶ岬においても基地外に居住する場合があります。



隊員による介護施設への慰問



ボランティアで海岸のごみ拾いをする隊員



車力通信所に隣接する借上住宅

「Xバンド・レーダー」を配備すると、経ヶ岬への攻撃の可能性が高まるのではないですか。

「Xバンド・レーダー」を配備したからといって、攻撃の可能性が高まるものとは考えられません。

- 「Xバンド・レーダー」の配備は、弾道ミサイルからの攻撃に対する我が国の防衛能力の強化に寄与することから、むしろ我が国への攻撃の抑止力を高めます。
- 自衛隊では、他国からの攻撃を未然に防止するため、航空機や艦艇などによる警戒監視活動を常に行っています。万が一、攻撃の予兆などが確認されれば、全国に11カ所ある弾道ミサイルを探知・追尾するレーダーや、米軍の「Xバンド・レーダー」をはりめぐらせ、イージス艦や迎撃ミサイル部隊などを展開させるなど、住民の方々の安全を確保するために、万全の体制をとっています。
- また、このレーダーは、弾道ミサイル防衛システムのレーダーの1つであり、1つのレーダーが無効化されてもシステム全体を無効化することにはならないため、経ヶ岬が攻撃される可能性が高まるものとは考えられません。



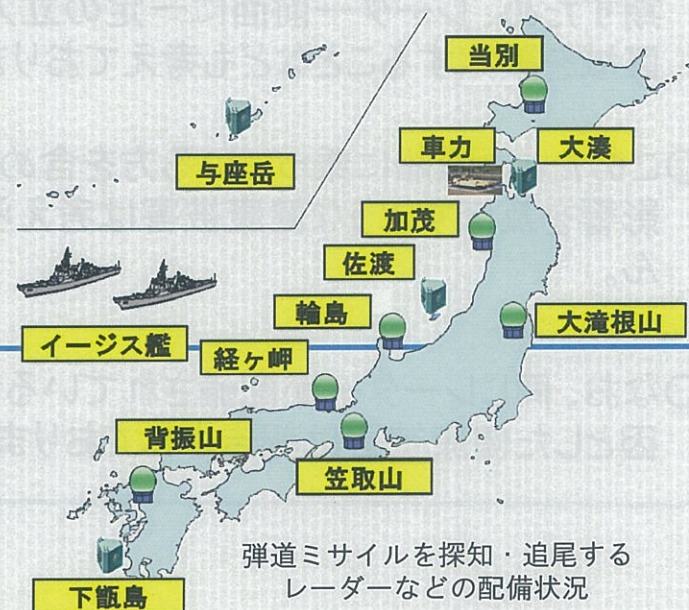
F-15 戦闘機



P-3C 哨戒機



イージス護衛艦



「Xバンド・レーダー」が発する電波は、健康に支障を与えるのではないですか。

人体への健康被害はありません。

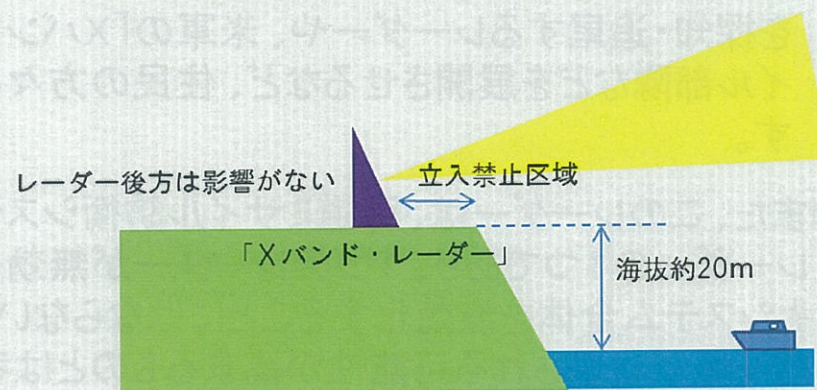
○このレーダーが発する電波は、細胞の遺伝子を損傷したりすることのない周波数帯を使用します（「Xバンド」は、自動車の速度測定や気象レーダー、船舶や航空機搭載のレーダーでも使用される帯域です）。

○このレーダーは、崖の上から海側上空に向けて電波を発するため、崖下や海面への影響はほとんど考えられませんが、安全に万全を期すため、レーダー前面に一定の立入禁止区域を設定することなども考えております。

○このため、漁船に乗っている方を含め人体に影響を及ぼすような健康被害は考えられません。

○なお、同じレーダーが配備されている青森県つがる市の車力通信所周辺では、このレーダーを原因とした健康被害は報告されていません。

【レーダー運用のイメージ】



※立入禁止区域の設定は今後米側と調整予定。

「Xバンド・レーダー」が発する電波は、日常生活に支障を与えるのではないですか。

地上波テレビやラジオ等への電波障害、騒音、道路の通行規制、周辺の民有地への立入規制といった日常生活への支障はありません。

○このレーダーは、電波干渉を防ぐため、周辺の電波の使用状況を確認した上で使用します。

○そのため、地上波テレビやラジオ、携帯電話等への影響はありません。

○万が一、このレーダーを原因とした衛星放送の受信障害などが発生した場合は対処措置を講じます。

○このレーダーを作動させるための電源は、発電に伴い音を発しますが、周辺への騒音被害を最大限に緩和するため、器材の周囲に防音壁を設置します。

○また、安全に万全を期するため、レーダー前面の上空に飛行制限区域を設定しますが、道路の通行規制や周辺の民有地への立入規制はありません。

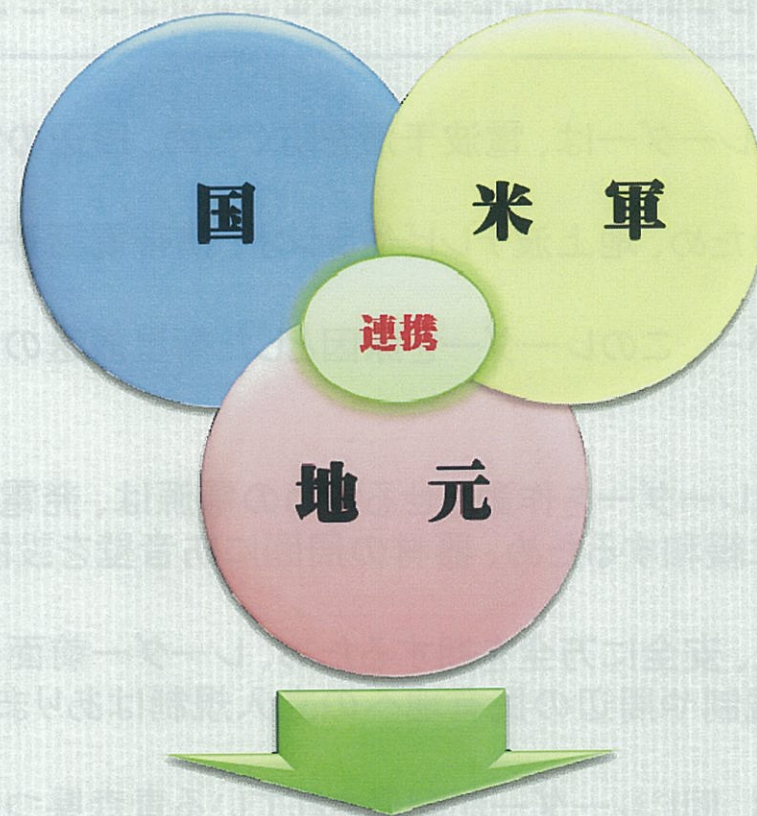
○なお、同じレーダーが配備されている青森県つがる市の車力通信所周辺では、このレーダーを原因とした日常生活への支障は報告されておられません。

米軍の規律保持、事件・事故防止にどのように取り組むつもりですか。

国、米軍、地元関係機関等が連携できるよう協力関係を築き、事件・事故防止に万全を期します。

○米国政府に対して、平素から一人一人に対する徹底した教育を施すなど実ある措置を講ずるよう、各レベルで申入れを行っています。

○「Xバンド・レーダー」が配備されている車力通信所では、国、米軍、関係自治体、関係機関、地域町内会代表によって構成される事件・事故防止のための連絡会を設置しており、この場で米軍の規律保持対策等について協議しています。経ヶ岬においても同様の措置が講じられるよう調整していきたいと考えています。



事件・事故防止

風評被害による農林水産物への影響や地域への影響等が生じたらどうするつもりですか。

防衛省の広報手段を活用し、風評被害の防止に努めるとともに、相談窓口を設け、地域住民の皆様の不安にお答えします。

農畜産・漁業産物への風評被害は、放射性物質や薬剤等による環境汚染に関する報道などによって起きた例があります。しかし、例えば、東京タワーなど放送塔の周辺で食物が汚染されたことがないように、電波は、放射性物質や薬剤と異なり、大気や農畜産物、漁業産物などへの環境汚染を引き起こすものではありません。

万全を期すために

- 防衛省の広報手段を活用し、「Xバンド・レーダー」が農畜産・漁業産物を汚染するものではないことを広く知らしめることを考えています。
- 地域住民の皆様の不安にお答えするため、現地における連絡・相談窓口を設置し、真摯に対応することを考えています。
- 車力通信所においても、これまで農畜産物や漁業産物に被害が生じたとの報告はありません。
- 「Xバンド・レーダー」配備によって経ヶ岬周辺の観光資源に影響が出ないよう、景観等への配慮は、最大限に努めることを考えています。

地域への経済効果はあるのですか。

「Xバンド・レーダー」の配備が、地域経済への活性化にも資するよう、米軍等に対して可能な限り働きかけていきます。

○一般論で申し上げれば、新たな施設建設工事に伴い、建設経済への需要が誘発され、また、施設整備後においては施設の維持管理工事、米軍人等による飲食における支出など地域社会において様々な消費活動が生じるものと考えます。



施設の建設工事の様子（イメージ）

「Xバンド・レーダー」の配備に必要な施設の建設など

施設の維持・管理等に必要な経費の支出

米軍人やその家族等における飲食等の消費活動

地域経済の活性化に寄与